

つなぐ、フリーペーパー

Paper Smart

特集
手術の先にあるもの



Emiko Hattori

今回はPaper Smart特別編として太極拳講師、服部恵美子さんのインタビューをお届けします。服部さんは当院で2021年に人工関節の手術を受けられました。その後、自身が主催する太極拳の教室に復帰され、現在も師範として活躍されています。

2023年6月に服部さんの太極拳教室に参加した、当院理学療法士の浜口先生のレポートもお楽しみください。

(インタビュー記事はPaper Smart -vol.1を再編しました)



理学療法士 浜口 直也

趣味はキャンプとBBQ

かねてから服部さんの教室に行ってみたい！という思いがあり、6月に脇之島公民館へお邪魔しました。服部さんが太極拳を指導されている姿は、まさに「驚き」と「感動」でいっぱい。太極拳を舞う姿はとても堂々として安定感があり、ゆっくりとした動きの中に片足立ちなど難易度の高い動きがあるにも関わらず、ふらつくことなくしなやかで安定した動きは僕たちを魅了しました。服部さんは手術後に太極拳への復帰を目指していく中で、筋力強化やバランス機能の向上を目指したリハビリに真剣に取り組まれていました。努力を重ね無事復帰された服部さんの表情からは自信と喜びが滲み出ていました。服部さんに「本当に手術をしてよかった。先生たちのおかげです。」と言っていたことはとても嬉しく、リハビリ職として関わることができたことを誇りに思います。

今回服部さんの太極拳教室取材させていただいたことは、リハビリテーションの役割について深く考える機会となりました。手術という大きな決断や壁を乗り越えて太極拳に復帰するために努力される服部さんの姿は、僕たちパートナーにとっても大きな励みとなっています。これからもゲストとともに人生の新しい一步を踏み出すために、より良いリハビリテーションの提供を目指していきたいと強く感じました。



太極拳講師 服部 恵美子様

2012年 楊名時太極拳師範取得

2021年 12月当クリニックで人工関節置換術を受ける

太極拳を続けるために

—太極拳との出会いは？

太極拳生徒募集のチラシを見て軽い気持ちで習ってみようと思ったのがきっかけです。

—手術をしようと思ったきっかけはありますか？

膝の痛みが長年悩まされ日常生活が不自由になり、長い距離の歩行が出来なくなりました。夜間も痛みが出る事もあり、すっきりと目が覚める事が減り憂鬱な日々が続く、こんな生活を断ち切りたいと思ったからです。

—手術後の生活で辛かったことはありますか？

痛みと腫れが想像以上にあり、とても不安な気持ちになりました。普通に歩ける日が来るのか不安でした。

—手術して良かった事はありますか？

出来ていた事が出来なくなった時に、家族や友達の優しさに触れる事が出来ました。スマートクリニックで出会ったすべての方々と話す事で、その都度悩みを伝える環境があり、解決する事で大変な時期を乗り越えられたと思います。

一年経った現在（2023年2月当時）痛みが取れ太極拳も痛みが無い時のように思いっきり出来る日が来た事。膝の変形が治り、スタイルが良くなったねと言われる事も想像していなかったので喜んでます。

—手術を考えているゲストに一言お願いします

痛みで悩んでいる時は的確な診断を受け、将来やりたい自分を想像し、迷いが無くなるまで聞く事です。手術を受けた後は想像していなかった不安や痛みがあります。しかし日々痛みが取れ回復する楽しみがありました。

一年経った今、以前よりも歩けるようになりチャレンジする意欲も出て来て自分らしい生活を送る事が出来ています。



クリニックにてスマート太極拳開催中！

服部さんを講師に迎え2023年2月に当クリニックでスタートしたスマート太極拳。現在は偶数月の第一日曜日に開催しています。太極拳を通じて術後の皆さんとつながりを持つ楽しい機会です。初心者の方にも安心してご参加いただける、椅子に座っての太極拳です。普段運動をされない方でもリラックスして無理なく行っていただけるので是非ご参加ください！お問い合わせ：リハビリパートナーもしくはスマートクリニック TEL 0572-21-1770 まで

